

三滝だより

NO. 250

2020年11月15日発行



あか き み おお 赤い木の実がなぜ多い？

あき ふか みたき もり きぎ
秋が深まり、三滝の森の木々も
すこ いろ はじ
少しずつ色づき始めました。

せんじつ きぼうばし ある
先日、希望橋へのコースを歩いていて道沿いの赤い実が目にとまりました。真っ赤に熟した小さな丸い実が、とてもおいしそうに見えます。

は
葉からミヤマガマズミの実だとわかり、一粒を摘んで口に入れたら※甘酸っぱい味がしました。

※わからない植物は絶対に口にしないで

ください！

三滝の森では、このほか、サルトリイバラやシロダモ、クロガネモチなど小さな赤い実がこの時期にはたくさん見られます。では、この時期、なぜ赤い実が多いのでしょ



ミヤマガマズミ（スイカズラ科）

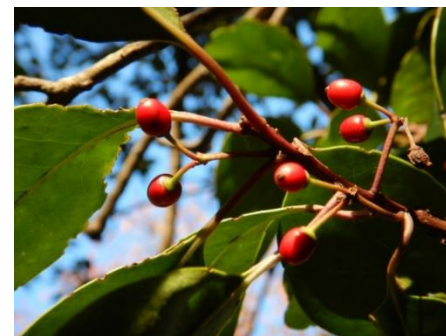


サルトリイバラ（ユリ科）

うか。

赤色は、木々の中^{なか}でとてもよく目^め立ちますね。木の葉の緑^{みどりいろ}色と赤色はお互いに目立たせる色の組み合^あわせ^{ほしよくかんけい}（補色関係ともいいます）です。赤い実^{にんげん}は、人間が見てよく目立つ^{ほか どうぶつ}のですから、他の動物にもよく目立つはず^{じぶん うご}です。では、どんな動物だと思いますか？

自分で動けない木にとっては、実の中にある種^{たね}を誰かに運^{はこ}んでもらうことがとても大切^{たいせつ}です。そこで、木にとまる鳥に「この実は、おいしいよ」と目立たせているのです。三滝でよく見かけるメジロやヒヨドリなどの鳥は、この時期から食べ物^{た もの}が少^{すく}なくなってきました。また、シベリアから渡^{わた}ってきたツグミなどの冬鳥^{ふゆどり}もえさを求めてやってきますから、この赤い実^{きちよう}は、とても貴重な食べ物になります。木は、そのような鳥たちに赤い実を食べてもらい、種^{たね}を遠く^{とお}に運^{はこ}んでもらうのです。ところで、鳥の眼は紫外線という見えない光^{ひかり}も見えています。うですから、実の色は人間が見ている赤い色ではないかもしれません。でも、この赤い木の実^{ひ よ}は鳥を引き寄せる魅力的な色^{みりよくてき}のようですね。



クロガネモチ（モチノキ科）



シロダモ（クスノキ科）

ミタキノミカタ

ごかん たの しぜんさんさくへん
～五感で楽しむ自然散策編～

アスレチックだけじゃない！三滝の楽しみ方

しぜん いえ き うけつけ かん
自然の家に来たら、受付にある自然散策マップを持って自然観
察に出かけでみませんか。

み 見て、ふれて **五感**で楽しむ自然散策マップ



コースを歩いていると、番号のついた木を発見！番号のほかに
不思議なマークも貼っていますね。受付でマップと一緒にもらっ
たプリントを見てみると…

12	クスノキ		木の幹をダッコしてみよう。幹の太さはどのくらいだろう？	大だ
----	------	--	-----------------------------	----

木の幹に手をまわしてみると、その太さにびっくり！…ここから先はみなさんが実際に歩いてたしかめてください。

ほかにも、「見る」「聞く」「におう」など、五感を使った自然観察は新しい発見ができ、大人も子どもと一緒に楽しめます。

ほかにもこんなプログラムがあります

今回紹介した散策コースのほかにも、自然の家からの絶景を楽しむ「ビューポイントめぐり」や家族でも安心して登れる「プチ登山」、雨が降っても建物の中で楽しめる「動物クイズ」など、たくさんのプログラムを用意しています。ぜひ、挑戦してみてください。



クスノキをダッコしてみよう！

公益財団法人広島市文化財団
広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20
TEL 082-238-6301 FAX 082-238-6302
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>